

河瀬小学校 コミュニティ・スクール

学校教育目標

智徳をみがき、健康でたくましく生きる「河瀬の子」の育成

第3回学校運営協議会
12月13日（金）14：30

「音楽会のように、子どもが中心の行事になれば、必ず周りの大人が関心を持って来校されます…」との会長のあいさつで会議が始まりました。

テーマを「学校と地域と一緒に活動できることはないか」とした熟議では、学校からの体験活動の受け入れや支援に対して、地域や保護者が参画できることについて意見が出されただけでなく、委員が出席された別の会議での情報や公民館の活用など、子どもたちを地域全体で育てることにつながる意見もありました。

また、「地域の人に関わることで、子どもが先生方には言えないことを話してくれることもあるので、地域の人に来てもらうと良い効果がある。」と話される委員もおられ、地域の人に関わる良さを共有できる場ともなりました。



「昔遊び」に地域の高齢の方にたくさん来校してもらいたいけど、高齢の方に伝える良い方法はないでしょうか？

公民館を活用されてはどうでしょうか。公民館では、サークル活動をしておられ、高齢者の方がたくさん参加されているサークルもありますので、そこで案内ができると思います。



社会福祉協議会の会議では、更生保護女性会や健康推進委員と連携し、「河瀬の歴史探訪」を計画しておられました。探訪の時の講師が、学校とつながると良いですね。

丁寧な事前打合せ AL（アクティブラーニング）教室の利用

事前打合せでは、会議の方向性を共通理解することが大切です。目的や役割分担の明確化だけでなく、事前準備の確認にもなります。

また、AL教室の利用は、視聴覚機器やホワイトボードがすぐに使え、会議の見える化にもつながります。

